



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日 東

上場会社名 リズム時計工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠間 達雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 奥田 伸一郎 (TEL) 048-643-7213
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	25,552	△6.3	508	△26.6	759	△24.9	510	△31.1
27年3月期第3四半期	27,264	13.0	692	60.0	1,010	23.2	740	30.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 267百万円(△89.0%) 27年3月期第3四半期 2,429百万円(△1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	4.97	—
27年3月期第3四半期	6.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	48,175	34,055	70.7
27年3月期	47,222	36,512	77.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 34,055百万円 27年3月期 36,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,700	△9.9	570	△36.5	890	△32.5	640	△39.7	6.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	117,178,939株	27年3月期	117,178,939株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	21,010,871株	27年3月期	6,591,524株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	102,649,889株	27年3月期3Q	115,602,252株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)
 四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 会計方針の変更	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日)の世界経済は、米国では景気の回復が続き、ユーロ圏でも景気回復の兆しが見えてきましたが、中国経済の減速や資源輸出国で景気の減速が明らかになってきました。わが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和策などを背景に、円安による輸出関連企業の収益の押し上げや雇用環境の改善が見られたものの、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下当社グループは、収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んだ結果、業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

売上高	平成27年3月期 第3四半期連結累計期間	平成28年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
時計事業	9,778	9,614	△164	△1.7%
電子事業	6,243	5,507	△735	△11.8%
プレジジョン事業	4,039	3,978	△61	△1.5%
接続端子事業	6,761	6,205	△556	△8.2%
その他	441	246	△195	△44.2%
計	27,264	25,552	△1,712	△6.3%

(単位：百万円)

営業利益	平成27年3月期 第3四半期連結累計期間	平成28年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
時計事業	141	324	183	129.9%
電子事業	97	△216	△314	—
プレジジョン事業	△44	79	124	—
接続端子事業	742	446	△295	△39.9%
その他	50	47	△3	△7.1%
調整額	△294	△173	121	—
計	692	508	△184	△26.6%

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① 時計事業

国内販売におきましては、中高級品の販売を強化したことにより、クロックの売上が増加し、国内販売はわずかながら売上高は増加しました。海外販売は、世界的な景気減速の影響を受け、売上高は減収となりました。

これらの結果、セグメント全体の売上高は、96億14百万円となり前年同期比1.7%減収となりました。また、セグメント全体の営業利益は、円安により海外生産コストは上昇しておりますが、原価率の改善や継続的な経費削減効果により3億24百万円となり、前年同期比129.9%増益となりました。

② 電子事業

電子事業におきましては、国内・海外とも景気減速の影響を受け、セグメント全体の売上高は55億7百万円となり、前年同期比11.8%減収となりました。

セグメントの営業損益は、不採算商品のリストラを実施したことに加え、操業度の低下といった要因もあり2億16百万円の損失(前年同期は97百万円の営業利益)となりました。

③ プレシジョン事業

プレシジョン事業におきましては、国内においては、新領域の開拓を進めることにより光学部品に依存する売上体質からの改善を図って参りました。また、海外での売上拡大に取り組んでおりますが、セグメント全体の売上高は39億78百万円となり前年同期比1.5%減収となりました。

セグメントの営業利益は、原価改善により79百万円（前年同期は44百万円の営業損失）となりました。

④ 接続端子事業

接続端子事業におきましては、国内では、太陽光発電、家電分野で受注に厳しさが見られ、自動車や電動アシスト自転車分野は受注が堅調に推移しました。海外では、インドネシアやベトナムでの二輪向け部品が需要減少による受注減により、セグメント全体の売上高は62億5百万円となり前年同期比8.2%減収となりました。

セグメントの営業利益は、受注減少により4億46百万円となり、前年同期比39.9%減益となりました。

⑤ その他

物流事業等その他事業につきましては、前年の子会社株式の売却に伴う影響もあり、セグメント全体の売上高は2億46百万円となり前年同期比44.2%減収となりました。

セグメントの営業利益は、47百万円となり前年同期比7.1%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は481億75百万円となり、前連結会計年度末472億22百万円に比べて9億53百万円増加しました。流動資産は、現金及び預金、棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ20億41百万円増加しました。固定資産は無形固定資産の償却進行、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度に比べ10億88百万円減少しました。

(負債)

負債合計141億19百万円となり、前連結会計年度末107億9百万円に比べ34億10百万円増加しました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ12億38百万円減少しました。固定負債は社債の発行などにより前連結会計年度末に比べ46億48百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は340億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ、自己株式の増加などにより、24億57百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（平成28年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,782	9,295
受取手形及び売掛金	7,849	6,361
電子記録債権	950	1,777
たな卸資産	8,392	8,894
その他	720	1,408
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	25,694	27,735
固定資産		
有形固定資産	8,776	8,592
無形固定資産		
のれん	2,505	2,256
その他	1,245	1,005
無形固定資産合計	3,751	3,261
投資その他の資産		
投資有価証券	6,985	6,462
その他	2,136	2,241
貸倒引当金	△122	△118
投資その他の資産合計	9,000	8,585
固定資産合計	21,527	20,439
資産合計	47,222	48,175
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,617	3,737
短期借入金	120	289
1年内返済予定の長期借入金	600	600
未払法人税等	311	69
賞与引当金	181	113
役員賞与引当金	22	—
その他	1,390	1,195
流動負債合計	7,244	6,006
固定負債		
社債	—	5,000
長期借入金	1,400	1,128
退職給付に係る負債	765	800
その他	1,299	1,183
固定負債合計	3,464	8,112
負債合計	10,709	14,119

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	13,681	13,681
利益剰余金	6,423	6,603
自己株式	△1,065	△3,460
株主資本合計	31,412	29,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,586	2,335
為替換算調整勘定	2,637	2,661
退職給付に係る調整累計額	△123	△139
その他の包括利益累計額合計	5,100	4,857
純資産合計	36,512	34,055
負債純資産合計	47,222	48,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	27,264	25,552
売上原価	20,529	19,315
売上総利益	6,735	6,236
販売費及び一般管理費	6,042	5,728
営業利益	692	508
営業外収益		
受取利息	27	16
受取配当金	151	164
受取賃貸料	167	162
信託収入	139	139
為替差益	—	10
その他	67	38
営業外収益合計	554	532
営業外費用		
支払利息	15	29
社債発行費	—	60
出向費用	30	39
賃貸費用	68	72
信託費用	41	42
為替差損	22	—
その他	56	37
営業外費用合計	236	280
経常利益	1,010	759
特別利益		
固定資産売却益	13	47
投資有価証券売却益	22	65
子会社株式売却益	68	—
受取保険金	35	—
特別利益合計	140	112
特別損失		
固定資産処分損	7	16
固定資産売却損	—	0
減損損失	11	—
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	18	17
税金等調整前四半期純利益	1,132	854
法人税、住民税及び事業税	392	252
法人税等調整額	△0	91
法人税等合計	391	344
四半期純利益	740	510
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	740	510

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	740	510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	570	△251
為替換算調整勘定	1,070	24
退職給付に係る調整額	48	△15
その他の包括利益合計	1,688	△242
四半期包括利益	2,429	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,429	267
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジ ジョン事業	接続端子 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,778	6,243	4,039	6,761	26,823	441	27,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	11	95	—	131	667	798
計	9,803	6,254	4,135	6,761	26,954	1,109	28,063
セグメント利益又は損失(△)	141	97	△44	742	937	50	987

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。なお、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社アールスタッフの全株式を売却したことにより連結の範囲から除外し、介護事業から撤退しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	937
「その他」の区分の利益	50
セグメント間取引消去	20
全社費用(注)	△255
棚卸資産の調整額	△60
四半期連結損益計算書の営業利益	692

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジ ジョン事業	接続端子 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,614	5,507	3,978	6,205	25,305	246	25,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	85	3	108	1	198	652	851
計	9,699	5,511	4,086	6,206	25,504	899	26,403
セグメント利益又は損失(△)	324	△216	79	446	634	47	681

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	634
「その他」の区分の利益	47
セグメント間取引消去	35
全社費用(注)	△224
棚卸資産の調整額	15
四半期連結損益計算書の営業利益	508

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。